

地域おこし協力隊 品川を紹介します①

市では、人口減少や高齢化が進む中、市外の材を積極的に活用し、地域の課題解決・活性化を図るため、ICT（情報通信技術）と水産の各分野で4人の「地域おこし協力隊」を委嘱しています。

ここでは、第1回目として、ICTを活用し、野生鳥獣被害対策などに取り組む下地悠太隊員を紹介します。



下地悠太隊員プロフィール
▽活動開始日平成28年11月1日
▽年齢31歳
▽出身地沖縄県那覇市

活動内容を教えてください

市が実施しているICTを活用した野生鳥獣被害対策に参加し、鹿を検知するセンサー端末の開発補助を行っています。

催し・講座

平成29年度大船渡市生涯学習推進のつどい

近年、市内でも観光や各種産業振興の分野で外国人の受け入れが大きな注目を集めています。今後も国際リニアコライダー誘致の本格化や、2020年東京オリンピック・パラリンピック、ラグビー・ワールドカップの開催などを契機に、世界の人々と市民の交流がますます盛んになることから、求められる人材の方などについて学ぶ機会と進めのつどいを開催します。

どなたでも参加できますので、お気軽にお越しください。

▽期日2月23日(金)
▽時間午後2時~4時
▽会場リリアスホール大ホール

内容

- 地区・地域公民館役職員などへの感謝状贈呈
- 活動紹介「宙詠みサークルの活動」(発表者: 宙詠みサークル)
- トーキングセッション(予定)テーマ「これからの国際交

問い合わせ先

碁石海岸インフォメーションセンター(☎223359)

流(仮題)【講師】マイケル・ターナーさん(在日米国大使館文化・交流担当官)、英語暗唱坂本美岬さん(越喜来中学校)

碁石海岸の松ぼっくりでひな人形づくり

▽期日2月10日(土)~3月3日(土)

▽時間午前9時~午後3時

▽会場碁石海岸インフォームーションセンター(越喜来中学校)

(☎内線290)

問い合わせ先

碁石海岸インフォメーションセンター(☎223359)

ることから、皮をなめすのに挑戦しながら、何かに活用できなか試行錯誤しています。地域おこし協力隊は日頃市町の遊休地を借りて、「ギーグファーム」と名付け、コミュニティ農園を運営しています。ギーグファームでは、趣味の日曜大工を生かして、交流スペースのウッドデッキを作るとともに、くんだ雨水を畑全体に引けるように整備しています。

また、昨年は、参加者と楽しみながらゆるく農作業ができたと考へ、「ゆる農」と題して、遊びながら気が向いた市を旅行し、日頃市町にあります。宮古島にあるパントウ木の出身地と共通点があり、不思議に思います。

大船渡市には、個性豊かな方々がいるので、そうした大船渡市を楽しんでいる先輩の暮らし方にフォーカスして学んでいけたらと思います。

大船渡市の魅力を教えてください。

地域の方々が、穏やかで優しい方が多く、犬の散歩をしていると、お酒を頂いたり、野菜や魚をお裾分けしていました。協力隊退任後については、ICTや農業など、協力隊の活動を通じて学んだことを生かしながら、大船渡市で暮らしていくければと考えています。

前職退職後、バイクで大船渡市を旅行し、日頃市町に滞在した時に、地域おこし協力隊のことを知りました。それまでは、大船渡市についてほとんど知りませんでしたが、滞在中にたくさんの方にお世話になりました。大船渡市へ恩返しができたらと思い応募しました。

大船渡市には、個性豊かな方々がいるので、そうした大船渡市を楽しんでいる先輩の暮らし方にフォーカスして学んでいけたらと思います。

大船渡市の魅力を教えてください。

今後、ギーグファームを整備し、遊べる畑づくりを目指すとともに、電子工作などに力を入れたいです。

地域の細かい情報を取り入れるイベントを開催しました。なお、今年からは農作業以外でも畠や自然を楽しめるようなイベントを開催したいと考えています。

大船渡市の文化との差異や共通点を探ることも楽しめます。沖縄にも獅子舞はありますが、現様や神舞はあります。沖縄でよく使われる黒糖が、「なべやき」などのお菓子に使われる点では、似ている点や、沖縄でよく使われる吉浜のスネカに似ています。宮古島にあるパントウ木の出身地と共通点があり、不思議に思います。

大船渡市の魅力を教えてください。

地域の方々が、穏やかで優しい方が多く、犬の散歩をしていると、お酒を頂いたり、野菜や魚をお裾分けしていました。協力隊退任後については、ICTや農業など、協力隊の活動を通じて学んだことを生かしながら、大船渡市で暮らしていくければと考えています。

――活動内容を教えてください

市が実施しているICTを活用した野生鳥獣被害対策に参加し、鹿を検知するセンサー端末の開発補助を行っています。

地域の方々が、穏やかで優しい方が多く、犬の散歩をしていると、お酒を頂いたり、野菜や魚をお裾分けしていました。

地域おこし協力隊に応募したきっかけを教えてください。

市が実施しているICTを活用した野生鳥獣被害対策に参加し、鹿を検知するセンサー端末の開発補助を行っています。

地域の方々が、穏やかで優しい方が多く、犬の散歩をしていると、お酒を頂いたり、野菜や魚をお裾分けしていました。

地域おこし協力隊に応募したきっかけを教えてください。